

ではありませんでしたが「有名だから一回行ってみよう」という気持ちでした。

そのお店のワンフロア全部が絵本！僕が小さい頃は「飛び出す絵本」なるものが登場し、次のページは何が飛び出すのかワクワクしたものです。ただ、カラーテレビが家庭に普及し、いろんなアニメや仮面ライダー、ウルトラマンに夢中で「絵本世代」とは言えないかもしれません。

今回、久しぶりに絵本に囲まれて



みるとなぜだか次々と手にとってしまいます。僕たちの時はこんなにバリエーションはなかったのではないかと思いますが、大きさ、色、字の多さ、

そして内容の幅広さに感嘆して帰ってきました。

そういえば以前、うちの診療室に来てくれたお子さんに一冊絵本をプレゼントしたことがあります。すごくいい子にしていたので「褒美」として。すると帰るとき、両手で絵本を頭の上へ持ち上げたままうれしそうに帰ったことがありました。

いわゆるコミックを読む人は少なくありませんが、絵本の力もすごいですね。

言葉

とにかく人間にとって痛みはいやなものです。先日も僕の左上の歯が痛み出し、自分なりに診断し（自分で指示をして！）妻に治療をしてもらい解決しました。

ところで、いろいろ痛みがあるとき、つらいとき、誰かに聞いてもらいたいものです。そんな時、医療者に言

ってもらいたくない言葉もありますよね。例えば「慣れますよ」「それくらい」「うそでしょう？」等々。極めつけは「痛くないでしょ！」

ある宗教家の方とシンポジウムした後、しみじみと言われました。「五島先生、医者というだけで十分鎧を着ているんですから優しい医療者になっってくださいね」と。

自分の歯が痛くなる時はいつも思っ出します。「全部を理解してくれる歯医者にあいたい！」。なかなか難しいことですが、皆さんの口の問題を、全てではなくとも理解できる歯医者になりたいと思います。

